

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL http://www.vx-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,903	△2.5	△198	—	△195	—	△464	—
2019年3月期第2四半期	2,978	9.1	0	△96.5	△4	—	△15	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △464百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△159.94	—
2019年3月期第2四半期	△5.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,245	494	22.0
2019年3月期	2,764	988	35.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 494百万円 2019年3月期 988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△2.9	△200	—	△200	—	△460	—	△159.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	2,942,253株	2019年3月期	2,941,153株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	64,500株	2019年3月期	27,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	2,905,348株	2019年3月期2Q	2,938,664株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に停滞が続いたものの、個人消費は雇用情勢の改善などを背景に持ち直すなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は米国では景気回復が続きましたが、アジアでは中国を中心に通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動に留意する必要もあるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,903,309千円（前年同四半期2.5%減）、営業損失198,876千円（前年同四半期は営業利益873千円）、経常損失195,690千円（前年同四半期は経常損失4,275千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失464,691千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失15,506千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件において、品質トラブルによる大幅な納期遅延が発生しました。バーチャレクス・コンサルティング株式会社については予定通り推移しております。その結果売上高は1,519,585千円（前年同四半期4.2%減）、セグメント利益は41,154千円（前年同四半期81.4%減）となりました。

アウトソーシング事業は、ストックビジネスとして着実に推移している中、積極的な新卒採用を進めております。その結果、売上高は1,383,724千円（前年同四半期0.6%減）、セグメント利益は216,862千円（前年同四半期10.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より518,229千円減少し、2,245,978千円となりました。これは主に、前連結会計年度末よりのれんが225,868千円、現金及び預金が222,712千円、受取手形及び売掛金が188,322千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より24,556千円減少し、1,751,593千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が98,133千円増加したものの、買掛金が97,743千円、未払金が46,067千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失464,691千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より493,673千円減少し純資産は494,385千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ222,712千円減少し、四半期末残高は92,536千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、162,156千円（前年同期は157,696千円の収入）であります。これは主に、減損損失225,019千円、売上債権の減少188,322千円があったものの、税金等調整前四半期純損失420,709千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、128,654千円（前年同期は76,435千円の支出）であります。これは主に、無形固定資産の取得による支出38,765千円、投資有価証券の取得による支出58,986千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、68,099千円（前年同期は108,568千円の支出）であります。これは主に、短期借入金金の増加額182,000千円、長期借入金の返済による支出83,867千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては本日別途開示の「特別損失の計上、業績予想値と決算値との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	315,249	92,536
受取手形及び売掛金	835,324	647,002
開発事業未収入金	229,217	309,450
仕掛品	54,824	18,760
前払費用	72,475	119,081
その他	35,841	40,703
流動資産合計	1,542,932	1,227,535
固定資産		
有形固定資産	96,797	71,864
無形固定資産		
ソフトウェア	136,659	153,850
のれん	225,868	—
その他	37,599	3,820
無形固定資産合計	400,126	157,670
投資その他の資産		
投資有価証券	429,064	490,878
その他	295,287	298,030
投資その他の資産合計	724,351	788,908
固定資産合計	1,221,275	1,018,443
資産合計	2,764,207	2,245,978
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,897	119,154
短期借入金	220,000	402,000
1年内返済予定の長期借入金	138,280	118,336
未払金	254,743	208,675
未払法人税等	43,085	19,483
賞与引当金	149,568	139,011
受注損失引当金	—	62,244
その他	247,508	241,432
流動負債合計	1,270,084	1,310,337
固定負債		
長期借入金	486,074	422,151
その他	19,990	19,104
固定負債合計	506,064	441,255
負債合計	1,776,149	1,751,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,861	598,147
資本剰余金	301,415	301,701
利益剰余金	105,982	△358,708
自己株式	△19,776	△49,478
株主資本合計	985,484	491,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,574	2,722
その他の包括利益累計額合計	2,574	2,722
純資産合計	988,058	494,385
負債純資産合計	2,764,207	2,245,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,978,983	2,903,309
売上原価	2,301,758	2,429,578
売上総利益	677,225	473,730
販売費及び一般管理費	676,351	672,606
営業利益又は営業損失(△)	873	△198,876
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	79
投資事業組合運用益	—	3,616
その他	447	5,370
営業外収益合計	461	9,066
営業外費用		
支払利息	1,840	3,212
支払手数料	633	1,442
為替差損	177	223
投資事業組合運用損	2,958	1,002
営業外費用合計	5,610	5,880
経常損失(△)	△4,275	△195,690
特別損失		
減損損失	—	225,019
特別損失合計	—	225,019
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,275	△420,709
法人税、住民税及び事業税	11,017	3,202
法人税等調整額	214	40,779
四半期純損失(△)	△15,506	△464,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,506	△464,691

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△15,506	△464,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,247	147
その他の包括利益合計	2,247	147
四半期包括利益	△13,259	△464,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,259	△464,543
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,275	△420,709
減価償却費	71,394	68,817
減損損失	—	225,019
資産除去費用	2,933	1,131
のれん償却額	14,417	14,417
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,006	△10,557
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	62,244
受取利息及び受取配当金	△13	△79
支払利息	1,840	3,212
支払手数料	633	1,442
為替差損益(△は益)	177	223
投資事業組合運用損益(△は益)	2,958	△2,613
売上債権の増減額(△は増加)	70,134	188,322
開発事業未収入金の増減額(△は増加)	△55,117	△80,233
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,230	36,064
前払費用の増減額(△は増加)	△7,295	△46,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,745	△97,743
未払費用の増減額(△は減少)	△2,898	△5,730
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,477	△44,585
前受金の増減額(△は減少)	67,731	61,667
預り金の増減額(△は減少)	2,973	△17,603
その他	55,627	△53,268
小計	146,776	△117,169
利息及び配当金の受取額	13	12
利息の支払額	△1,935	△3,245
手数料の支払額	△633	△1,442
法人税等の支払額	△13,665	△45,207
法人税等の還付額	27,141	4,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,696	△162,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,917	△1,778
無形固定資産の取得による支出	△28,551	△38,765
投資有価証券の取得による支出	△26,202	△58,986
貸付けによる支出	△4,282	—
貸付金の回収による収入	180	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,537	△28,974
保険積立金の積立による支出	△124	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,435	△128,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	182,000
長期借入れによる収入	—	—
長期借入金の返済による支出	△60,180	△83,867
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△903
株式の発行による収入	1,612	572
自己株式の取得による支出	—	△29,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,568	68,099
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,307	△222,712
現金及び現金同等物の期首残高	363,922	315,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	336,615	92,536

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,586,441	1,392,542	2,978,983	2,978,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,586,441	1,392,542	2,978,983	2,978,983
セグメント利益	221,155	241,155	462,311	462,311

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	462,311
全社費用(注)	△461,437
四半期連結損益計算書の営業利益	873

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,519,585	1,383,724	2,903,309	2,903,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,519,585	1,383,724	2,903,309	2,903,309
セグメント利益	41,154	216,862	258,017	258,017

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,017
全社費用(注)	△456,893
四半期連結損益計算書の営業損失	△198,876

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IT&コンサルティング事業」セグメントにおいて、株式会社タイムインターメディアののれんの減損損失等の発生により、当第2四半期連結累計期間において減損損失225百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「IT&コンサルティング事業」セグメントにおいて、株式会社タイムインターメディアの株式について株式価値の回復可能性を検討してきましたが、回復に相当の期間を要すると判断したため、同社株式取得時に計上したのれんの未償却残高の全額211百万円を、当第2四半期連結累計期間において減損処理を行いました。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）の中に当該のれんの減損損失も含めて記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。